

第42回農林水産政策会議の概要

- 日 時：平成22年5月24日（月）17:10～17:40
- 場 所：衆議院別館 講堂
- 主席者：山田副大臣、池田消費・安全局畜水産安全管理課長、原田生産局畜産企画課長、渡邊生産局食肉鶏卵課長
- 議 題・山田副大臣からの現地報告について

1. 会議冒頭挨拶

（山田副大臣） 大臣のご指示で現地対策本部に行ってから1週間、一生懸命やっているが終息の兆しはなく厳しい状況。明日の委員会で色々詳しい報告を聞いていただけたらと思う。ワクチン接種は一昨日から開始しており、今日明日で何とか終わらせたい。しかしワクチンを打ったからといって感染がなくなるというわけではないし、効果が出るまでには1週間かかる。家伝法上、本来はすぐ埋却しなければならないが、土地の確保に町も県も苦慮しているところであり、対応を急ぐ必要がある。また、韓国、中国、ミャンマーと東アジア諸国で口蹄疫が猛威をふるっている今、日本が大胆な対策を打って封じ込めなければならないと思っている。

2. 池田消費・安全局畜水産安全管理課長から資料に沿って説明

3. 出席議員からの主な発言

（道休議員） 現場での山田副大臣の御活動を目にしており、大変感謝申し上げたい。ワクチン接種、殺処分、埋却の流れの中で、最も重要なポイントである埋却地確保について。農業大学校の土地と高鍋にある県立農業高校の土地は使えないのか。町がもっている公的な場所について、町長からの同意が得られない状況なのか。見通しを伺いたい。

（空本議員） 宮崎以外の県や全国に拡がる恐れがある。各地で使える簡易キット等を用いた検査方法は何かないか。韓国の事例では、簡易キット1回目陰性で2回目陽性が出たという話も聞く。何かいい方法はないか。また、中国から殺菌された稲わらが入ってきていると聞いた。これについてどうお考えか。

検査について。”異常があったら検査”ではもう手遅れでは。農村だったらすぐにまん延してしまう。”この地域は安全だ”と担保できるような体制づくり、何らかの方策はないのか。

感染経路について、中国から来た稲わらがどこで使われているか等調査は行っているのか。

（石津議員） 感染経路はまだ解明されていないのだから、わらも疑ってかかった方がよいのでは。加熱処理にぬかりのないようにしてほしい。

今回の口蹄疫では、1例目の農場では中国のわらは使っていたのか。

（福島議員） 特措法について伺いたい。野党が法案を提出するとのこと。与党としても準備しておく必要があるのではないか。大臣、副大臣を全面的に支える立場として、どういったことができるか。

4. 副大臣、消費・安全局畜水産安全管理課長、原田生産局畜産企画課長からの主な発言

（山田副大臣） 本日15時から県において知事、関係市町長が集まりこれについて議論している。そこでこれら公共用地を提供するという話がされていると確信

している。

地元の町長さんとも話していたが、2千戸の農家さんにワクチン接種家畜を全て殺処分するのを理解してもらわないといけない。今、やっとこの理解を得られるというところまでこれた。後は肅々と防疫活動を行っていくのみ。筒井委員長とともに、大臣に特措法について意見を述べたところだが、マスコミもいる（ドアの外）ことから、ここではコメントを差し控えたい。

（池田畜水産安全管理課長） 検査方法について、全国の家畜保健衛生所が、各地の農家で異常がないかチェックしている。臨床獣医師が疑い事例を見つけたら、家畜保健衛生所に通報し、家畜保健衛生所の職員が農場へ行く。そこで疑いが認められれば採材し、動物衛生研究所に検体を送ることとなっている。検査はあるが、誰でも出来るというわけでもないし、検査は動物衛生研究所で一括して行い、そこで白黒つけることとしている。宮崎の発生2地域以外からこれまでに送られてきた検体については、全て陰性。

中国の稲わらは、口蹄疫の発生がないとされている地域からのもので、大連の加熱処理施設において常駐している日本の検疫担当者立ち合いのもとでしっかり加熱処理されているもののみ輸入を認めている。また、現地での加熱処理にぬかりがないよう検疫担当官にしっかり伝える所存。

口蹄疫の発生は現在宮崎県の2地域に限局している。すなわち、その2地域以外は安全、ということ。現在の2地域以外に発生が拡がってその他の地域の安全性まで揺るぐことのないよう、全力で防疫活動にあたっている。また、疫学的に関連のある農場については、積極的に検査を行っている。

発生農場で使用されている稲わらについては疫学調査で追いかけているが、今回の発生事例では全ての農場で中国産稲わらを使っているというわけではない。

（原田畜産企画課長） 今回の口蹄疫の1例目において、中国産わらを使っていたという報告だが、中国産稲わらを使っていた農家の全てで発生しているわけではない。

（以上）